

安全データシート(SDS)

1 製品及び会社情報

製品名	ラッピングスプレー ペリット マツクリア
品番	MH11445
会社名	武蔵ホルト株式会社
住所(本社)	〒102-0076東京都千代田区五番町14番地 国際中正会館7階
担当部門	営業管理部
電話番号	03-4265-8010
FAX番号	03-4265-8011
緊急連絡の電話番号	同上
主な用途	自動車補修用
作成日	2020/9/3
改定日	

2 危険有害性の要約

【GHS分類】JIS Z7252に基づき分類した。区分外・分類対象外・分類できないものは表記していない。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ・可燃性・引火性のエアゾール | 区分1 |
| ・皮膚腐食・刺激性 | 区分2 |
| ・眼損傷・刺激性 | 区分2 |
| ・生殖毒性 | 区分1B |
| ・特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) | 区分1(中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓) |
| | 区分3(気道刺激性、麻酔作用) |
| ・特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) | 区分1(中枢神経系、神経系、呼吸器) |
| ・水生環境急性有害性 | 区分2 |
| ・水生環境慢性有害性 | 区分2 |

ラベル要素

実際の製品表示と異なる場合があります。製品は一般消費者向けであり、一般社団法人日本塗装工業会の家庭用塗料GHS自主表示要領に基づき、リスク評価を含めた総合的な評価結果を表示しています。

【絵表示】



炎



健康有害性



感嘆符



環境

【注意喚起語】

危険

【有害性情報】

- ・可燃性または引火性の極めて強いエアゾール
- ・高压容器:熱すると破裂の恐れ
- ・強い眼刺激
- ・遺伝性疾患のおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器<中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓、気道刺激性、麻酔作用>の障害のおそれ
- ・眠気やめまいのおそれ
- ・長期にわたる、または、反復暴露により臓器<中枢神経系、神経系、呼吸器>の障害のおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に毒性

3 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	CAS No.	含有量(%)	安衛法No.	PRTR法No.	化審法※4
レジン	201058-08-4	10 ~ 11			情報なし
二酸化ケイ素	14808-60-7	0.1 ~ 1	●		1-548
低沸点芳香族ナフサ	64742-89-8	22 ~ 25			情報なし
1,3,5-トリメチルベンゼン	108-67-8	20 ~ 23	●	297	3-3427
メチルエチルケトン	78-93-3	2 ~ 4	●		2-542
ジメチルエーテル	115-10-6	30 ~ 40			2-360

※3

安衛法No

表示物質: 施行令第18条 名称等を表示すべき有害物質

通知物質: 法第57条の2 施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

●: 最大含有量が閾値以上の対象物質

PRTR法No.: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の政令番号

有機溶剤中毒予防規則※3

第2種有機溶剤: 施行令別表第6の2

化学物質の審査および製造等の規制に関する法律

MITI番号: 官報公示整理番号

4 応急処置

【吸入した場合】

- * 蒸気、ガスなどを吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、暖かくして安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には、人工呼吸を行う。
- * 嘔吐物は飲み込ませないようにし、医師の診断を受ける。

【皮膚に付着した場合】

- * 汚染された衣服は、素早く脱ぐ。
- * 大量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。
- * 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。

【目に入った場合】

- * 直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。
- * コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。
- * できるだけ速く医師の診断を受けること。

【飲み込んだ場合】

- * 直ちに、医療措置を受ける手配をする。
- * 嘔吐物は飲み込ませず、医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5 火災時の措置

【消化剤】

- * 水[×]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]

【消火方法】

- * 水を消火に用いてはならない。
- * 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。
- * 消火作業は、指定の消化剤を使用し、可能な限り風上から行なう。
- * 高温にさらされる製品容器には水をかけて冷却する。
- * 火災の現場にエアゾール製品があると爆発する恐れがあるので、消火活動には距離を十分にとること。

消火を行う者の保護

- * 適切な保護具(耐熱着衣、有機ガス用防毒マスク、手袋等)を着用する。

6 漏出時の措置

【人体に対する注意事項】

- * 付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、換気をよくする。
- * 着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
- * 作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- * 漏洩物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- * 乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する
- * 衝撃、静電気にて火花が発生しないような、材質の用具を用いて回収する。
- * 多量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- * 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
- * 風上から作業し、風下の人を退避させる。
- * 振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので、注意して取り扱うこと。

【環境に対する注意事項】

- * 流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

7 取り扱い及び保管上の注意

【安全取り扱い注意事項】

- * 換気の良い場所で取り扱う。
- * 炎や火気の近くで使用しないこと。
- * 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- * 温度が40℃以上の所では取扱わないこと。また40℃以上に温めないこと。
- * 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- * 静電気対策のため、装置等は設置し、電気機器類は防爆型を使用する。
- * 工具は、火花防止型のものを使用すること。
- * 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
- * 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄まで水につけておくこと。
- * 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置をつけ適切な保護具をつけて作業すること。
- * 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- * 取扱後は、手、顔等をよく洗い、休憩所に手袋などの汚染した保護腐を持ち込まない。
- * 容器は衝撃や落下又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- * 容器は使用の都度キャップをかぶせること。
- * 局所排気内、または全体換気のある場所で取扱い、蒸気が滞留しないようにする。

【適切な保管条件】

- * 直射日光の当たる自動車内や温度が40℃以上になる所に保管しないこと。
- * 小廻りや湿度の高い所に保管すると、容器が腐食し吸着する恐れがあるので、乾燥した場所に保管すること。
- * 直射日光を避け、通気の良い場所に保管すること。
- * 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
- * 子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

8 暴露防止及び保護措置

【設備対策】

- * 取扱設備は防爆型を使用する。
- * 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- * 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置については、アースを取るように設備する。
- * 屋内塗装作業の場合は、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とする。
- * タンク内部の密閉場所で作業する場合には密閉場所、特に底部まで十分に排気出来る装置を取り付けること。

【保護具】

- * 呼吸器用の保護具 : 防毒マスク(有機ガス用)を使用する。密閉された場所では、送気マスクを着用する。
- * 目の保護具 : 保護眼鏡を着用する。
- * 皮膚の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- * その他 : 塗料の取り扱いに適した服装をする。

9 物理的及び化学的性質

【物理的状态】

状態	液体:[O](エアゾール包装で容器内部は、液体状態) 気体:[O](解放時) 固体:固体状[],粉末状[],ペースト状[] 艶消しクリア				
色	溶剤臭				
臭い	該当しない				
pH	該当しない				
沸点	原液	データなし	ガス	-24	°C
沸点範囲	原液	150 ~ 180	ガス	-	°C
融点	原液	データなし	ガス	データなし	
引火点	原液	26	ガス	-41	°C
発火点	原液	370	ガス	350	°C
爆発限界		(下限)	(上限)		
	原液	0.9	11.5	vol%	
	ガス	3.4	27.0	vol%	
蒸気圧	原液	10KPa (20°C)	ガス	507KPa (21°C)	
蒸気密度	原液	データなし	ガス	データなし	
密度(比重)	原液	0.84	ガス	0.66	
溶解性	原液	水に不溶	ガス	データなし	
オクタノール/水分配係数	原液	データなし	ガス	データなし	
分解温度	原液	データなし	ガス	データなし	
その他のデータ	原液	データなし	ガス	データなし	

10 安定性及び反応性

【安定性】

- * 通常の条件では安定

【反応性】

- * 強酸化剤と接触すると激しく反応する。

【危険有害な分解生成物】

- * 不完全燃焼により、CO・NOX などが考えられる。

【その他の反応性情報】

- * 常用温度(20°C)では缶内圧は、約0.35MPaであるが、40°C以上になると爆発の恐れがある。

11 有害性情報

【成分の健康有害性情報記載のないものはGHS分類でカットオフ値以下、知見なし、あるいはデータなしの成分
急性毒性

二酸化チタン	経口	(LD50: > 10,000mg/kg ラット
低沸点芳香族ナフサ	吸入	(LC50: 3,400ppm/4時間 ラット
1,3,5-トリメチルベンゼン	経口	(LD50: 5,000mg/kg ラット
メチルエチルケトン	経口	(LD50: 5522mg/kg ラット
	経皮	(LD50: > 5,000mg/kg ウサギ
	吸入	(LC50: 11,700ppm/4時間 ラット

皮膚腐食／刺激性

1,3,5-トリメチルベンゼン	区分2	1時間後から軽度の発赤ウサギ
メチルエチルケトン	区分2	中等度の刺激 ウサギ

眼損傷／刺激

1,3,5-トリメチルベンゼン	区分2B	軽度の刺激性(500mg/24h) ウサギ
メチルエチルケトン	区分2A	重度の刺激 ウサギ

呼吸器感作性/皮膚感作性/生殖細胞変異原性

分類できない	データなし
--------	-------

発がん性

二酸化ケイ素	区分1A	粉塵吸入
--------	------	------

生殖毒性

分類できない	データなし
--------	-------

特定標的臓器(単回)

1,3,5-トリメチルベンゼン	区分3	気道刺激性、麻酔作用
メチルエチルケトン	区分2	腎臓
	区分3	気道刺激性、麻酔作用
ジメチルエーテル	区分3	麻酔作用

特定標的臓器(反復ばく露)

1,3,5-トリメチルベンゼン	区分1	中枢神経系、呼吸器
メチルエチルケトン	区分1	神経系

吸引呼吸器有害性

1,3,5-トリメチルベンゼン	区分1	経口摂取した場合、肺への吸引により化学性肺炎を起こす恐れあり
-----------------	-----	--------------------------------

その他の有害性情報

ジメチルエーテル	液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす恐れがある。
----------	-----------------------------

製品に関する有害性情報

- * 製品としての安全性試験は行っていない

12 環境影響情報

- * 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水口に直接流れないようにすること。

13 廃棄上の注意

- * 中身を使い切ってから廃棄する。
- * 塗料およびガスが出なくなるまで使い切った後でも、そのまま火中に入れると破裂する恐れがあるので、火の中に入れないこと。
- * 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
- * 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- * 内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託して下さい。

14 輸送上の注意

【共通】

- * 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
- * 運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

【陸上輸送】

- * 消防法、労働安全衛生法、ほか法令の輸送について定めるところに従うこと。

【海上輸送】

- * 船舶安全法に定めるところに従う。

【航空輸送】

- * 航空法に定めるところに従う。

【国際規制】

国連番号 : 1950 国連分類 : クラス2. 1(高圧ガス) 指針番号 : 126

15 適用法令

高圧ガス保安法	: エアゾールの為、非該当
消防法	: 第4類 第二石油類 (非水溶性)
毒物及び劇物取締法	: 混合物の為、非該当
労働安全衛生法	: 危険物(引火性の物、可燃性ガス) 通知対象物質含有 有機溶剤中毒予防規則(第二種有機溶剤含有)
家庭用品品質表示法	: 雑貨工業品品質表示規程 塗料
船舶安全法	: 危険物(高圧ガス)
航空法	: 危険物(高圧ガス)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	

16 その他の情報（引用文献）

- * Globally Harmonized System of classification and Labelling of Chemicals(Rev.6,2015)
- * 経済産業省 国連GHS文書
- * 日本塗料工業会編集 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック
- * 経済産業省 GHS混合物分類判定システム(Ver.4)
- * Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS UN Model Regulations(Ver.20)
- * GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252
- * GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253
- * 日本塗装工業会編集 原材料物質データベース
- * 危険防災緊急便覧
- * 国際科学安全カード(ICSC)
- * Suppliers Test Report

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、情報の正確さ、完全性を保証するものではありませんので、新しい情報によって改訂されることがあります。

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。